

# マクニカ・富士エレ ホールディングス株式会社 平成31年3月期第2四半期 決算説明会資料（プレゼン編）

2018年10月29日

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 第一部

- I 2019年3月期上期実績（連結）
- II 2019年3月期予想（連結）
- III 株主還元

## 第二部

- I 中期経営計画（2016～2018年度）

## 第一部

### I 2019年3月期上期実績（連結）

### II 2019年3月期予想（連結）

### III 株主還元

## 第二部

### I 中期経営計画（2016～2018年度）

3

#### I 2019年3月期上期実績

### 連結業績ハイライト（前年同期比）

（単位：億円）	2017年度 上期実績	2018年度 上期実績	差異	前年同期比	増減要因
売上高	2,376	2,617	241	10.1%	車載市場向けや産業機器市場向けが好調
売上総利益	262	305	43	16.7%	売上増加及び売上総利益率の改善により
営業利益	68	85	17	25.7%	売上及び売上総利益の拡大に伴い増加
経常利益	72	75	3	4.8%	外貨建債権債務の決済等により8億円の 為替差損が発生
親会社株主に帰属 する四半期純利益	54	50	▲4	▲7.2%	前年は繰延税金資産の計上が増加

4

## 連結業績ハイライト（予想比）

（単位：億円）	2018年度 上期予想 (5/1発表)	2018年度 上期実績	差異	予想比
売上高	2,560	2,617	57	2.2%
売上総利益	287	305	18	6.4%
営業利益	72	85	13	18.7%
経常利益	71	75	4	5.6%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	50	50	0	0.1%

## 連結貸借対照表

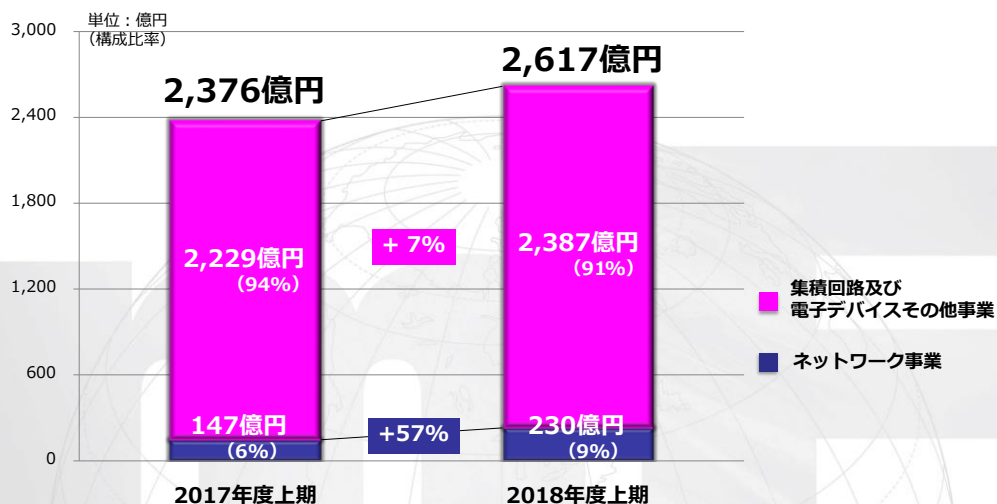
（単位：億円）	2018年 3月末	2018年 9月末	主な要因
流動資産	2,494	2,578	現金及び預金が141億円減少したものの、売上債権が116億円、商品が96億円増加
固定資産	173	178	投資その他の資産が5億円増加
資産合計	2,667	2,756	
流動負債	1,252	1,260	仕入債務が236億円減少したものの、短期借入金が211億円、その他の流動負債が32億円増加
固定負債	133	173	長期借入金が42億円増加
負債合計	1,385	1,433	
純資産合計	1,282	1,323	繰延ヘッジ損益が10億円減少したものの、利益剰余金が30億円、為替換算調整勘定が18億円増加
負債純資産合計	2,667	2,756	

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)	2017年度 上期	2018年度 上期	主な要因
営業活動による キャッシュ・フロー	▲119	▲345	税金等調整前四半期純利益75億円の増加があったものの、 売上債権の増加、たな卸資産の増加及び仕入債務の減少が あったことによるもの
投資活動による キャッシュ・フロー	▲4	▲15	定期預金の預入及び有形・無形固定資産の取得があったこ とによるもの
財務活動による キャッシュ・フロー	150	212	配当金の支払いがあったものの、短期・長期借入金の純増 があったことによるもの
現金及び現金同等物 の期末残高	186	143	前連結会計年度末の288億円に比べ144億円減少

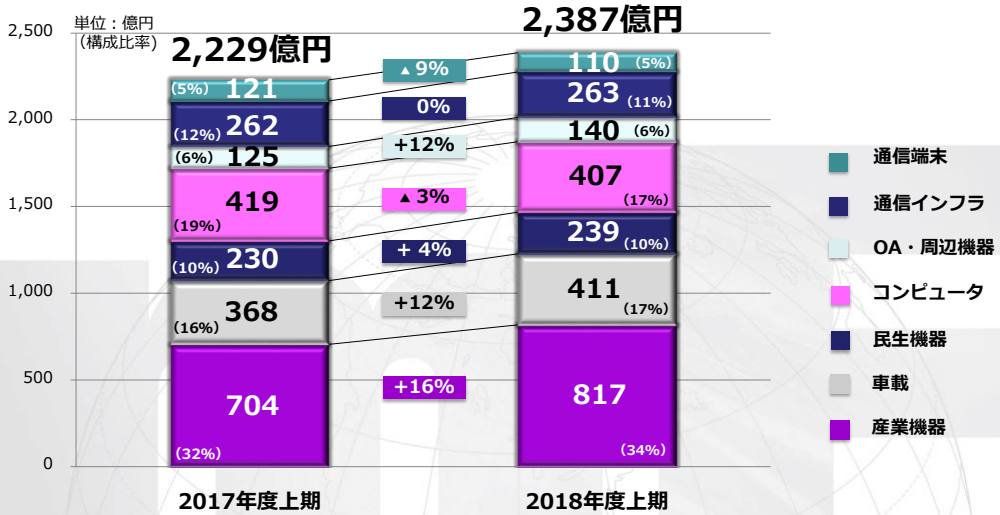
## セグメント別：連結売上高

2,617億円 前年同期比+10.1%



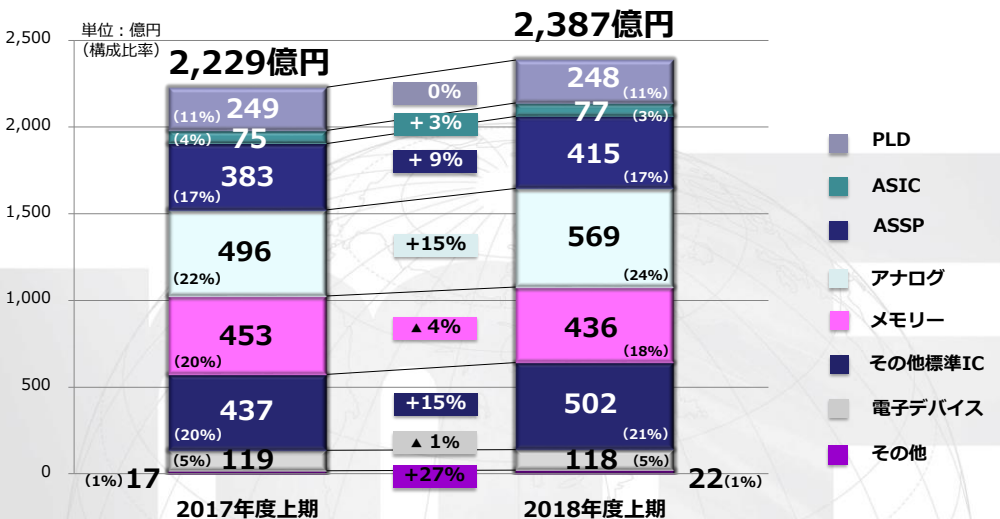
## 集積回路及び電子デバイスその他事業（用途別）

2,387億円 前年同期比 +7.1%



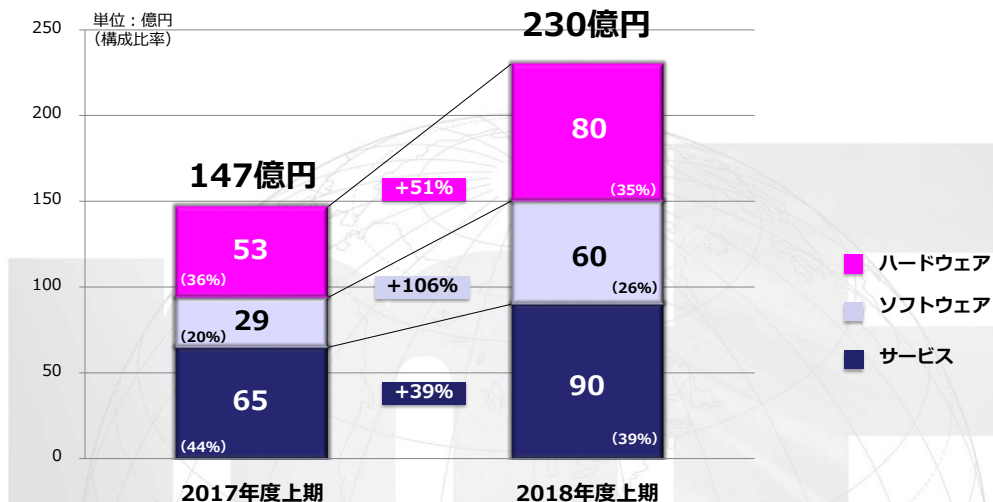
## 集積回路及び電子デバイスその他事業（品目別）

2,387億円 前年同期比 +7.1%



## ネットワーク事業（品目別）

**230億円** 前年同期比+56.9%



## 第一部

I 2019年3月期上期実績（連結）

II 2019年3月期予想（連結）

III 株主還元

## 第二部

I 中期経営計画（2016～2018年度）

## 連結予想ハイライト

(単位: 億円)	2017年度 実績	2018年度			前年比
		上期実績	下期予想	通期予想	
売上高	5,041	2,617	2,683	5,300	5.1%
集積回路及び電子デバイス その他事業	4,651	2,387	2,402	4,789	3.0%
ネットワーク事業	390	230	281	511	30.8%
売上総利益	561	305	291	596	6.2%
営業利益	152	85	75	160	5.5%
経常利益	149	75	83	158	5.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	114	50	60	110	▲3.6%

## 集積回路及び電子デバイスその他事業

### 車載や産業機器市場向けなど引き続き堅調

- コンピュータは、国内のサーバー、ストレージ向けのメモリビジネスが一部収束することにより減少する見通し
- 車載は、新規ビジネスの立ち上がり等、引き続き堅調に推移する見込み
- 産業機器は、米中貿易摩擦の影響等により設備投資抑制懸念があるものの、半導体製造装置向け等が堅調に推移する見通し

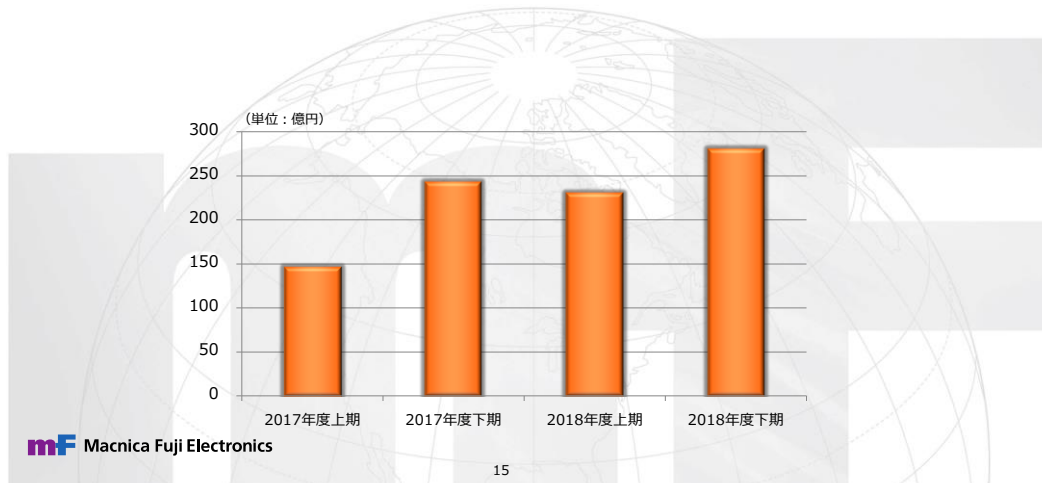


## ネットワーク事業



### セキュリティ関連は引き続き好調

- 標的型攻撃対策、GDPR等の法規制を始めとしたコンプライアンス対応等のセキュリティ関連商品が引き続き牽引する見込み
- モバイル、クラウド関連やビッグデータ関連商品が伸長する見通し



## 第一部

### I 2019年3月期上期実績 (連結)

### II 2018年3月期予想 (連結)

### III 株主還元

## 第二部

### I 中期経営計画 (2016~2018年度)



## 配当について

### ● 配当方針

将来の事業展開と経営体質の一層の充実・強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対し極力利益を還元すること、諸般の情勢を勘案しつつも安定した配当の継続に努めることといたします。毎事業年度における配当の回数についての基本的な方針は、中間配当並びに期末配当の年2回を原則とします。

### ● 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	17.50	32.50	50.00
2019年3月期	25.00		
2019年3月期（予想）		25.00	50.00

## 第一部

### I 2019年3月期上期実績（連結）

### II 2019年3月期予想（連結）

### III 株主還元

## 第二部

### I 中期経営計画（2016～2018年度）

## 中期経営計画



### 成長の追求による優位ポジションの確立

#### 1 成長戦略

- ① 統合効果によるシェア拡大
- ② グローバル戦略の強化
- ③ ネットワーク事業の強化
- ④ 成長加速の施策

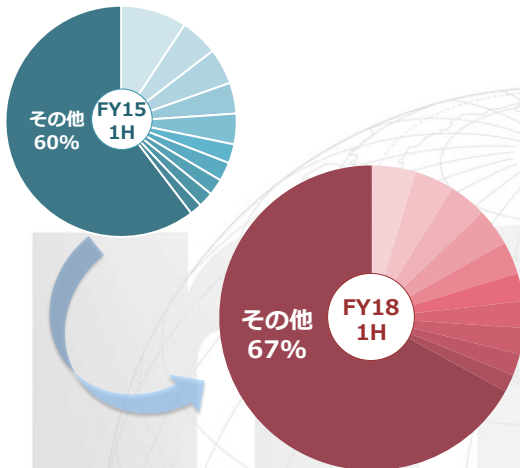
#### 2 中期経営目標

## 1 成長戦略：①統合効果によるシェア拡大

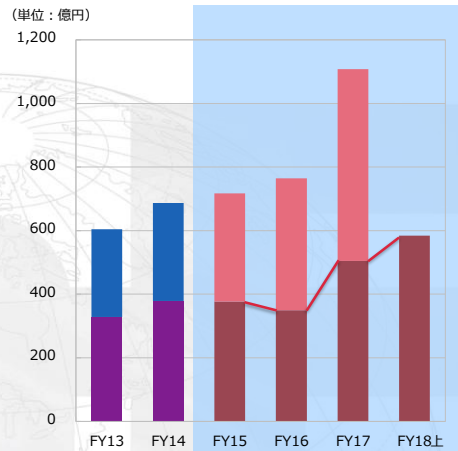
### ■ 総合力による中堅・中小規模顧客への浸透



Top 10 Customers FY2015 1H vs FY2018 1H

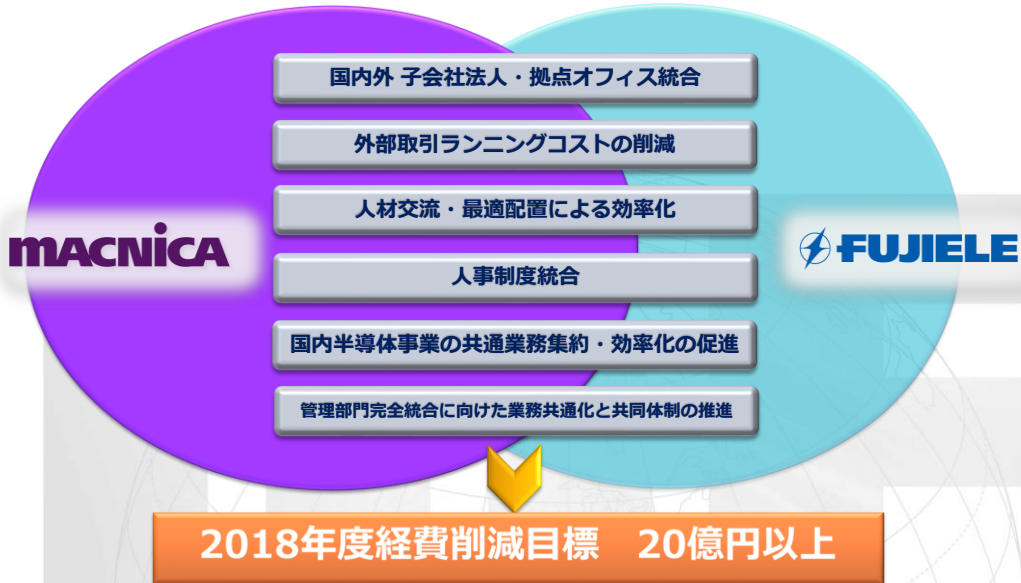


Growth in Industrial Segment (Domestic)



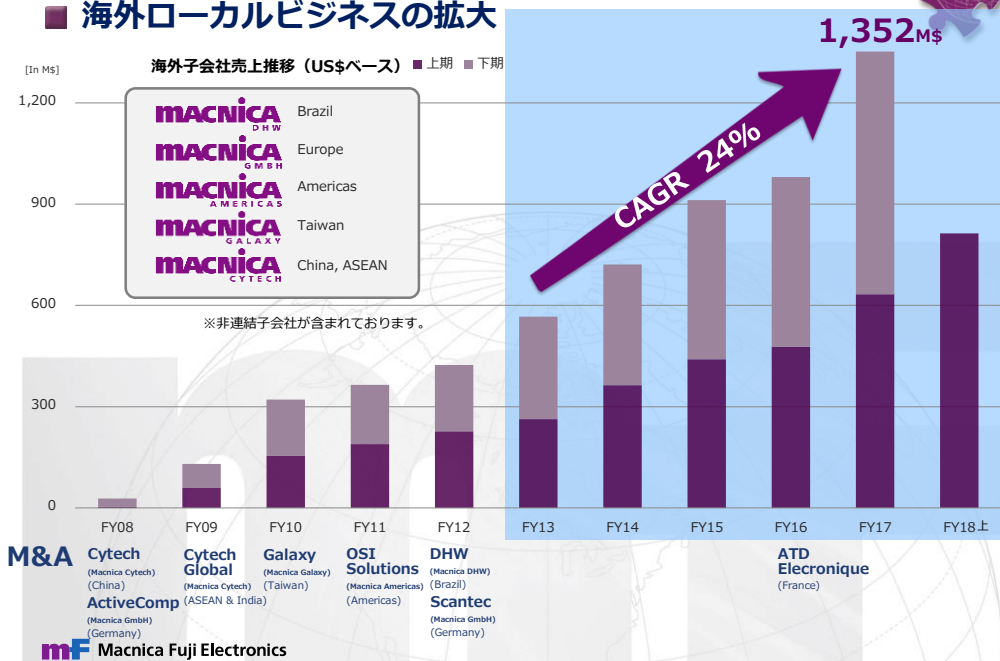
# 1 成長戦略：①統合効果によるシェア拡大

## ■ 統合による生産性・経営効率の向上



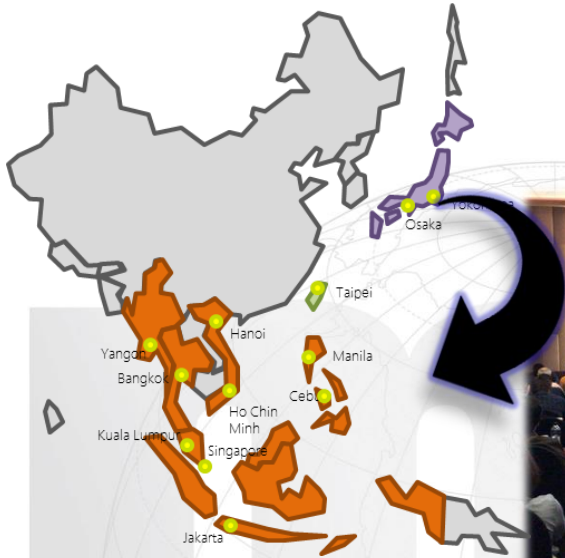
# 1 成長戦略：②グローバル戦略の強化 <半導体事業>

## ■ 海外ローカルビジネスの拡大



# 1 成長戦略 : ②グローバル戦略の強化 <ネットワーク事業>

## ■ アジアローカルビジネスの拡大



Netpoleonとのシナジー

- ①新規商権獲得
- ②ノウハウの共有
- ③ブランディング強化

# 1 成長戦略 : ③ネットワーク事業の強化

クラウドベース  
エンドポイント  
セキュリティ

GDPR対策セキュリティ

クラウドベース  
セキュリティ

リスク管理

データベース  
セキュリティ

クラウド  
セキュリティ



エンドポイント  
セキュリティ

暗号化対策

モバイルデバイス管理

セキュリティ  
管理



## 1 成長戦略：④成長加速の施策

### ■ 新規事業への布石

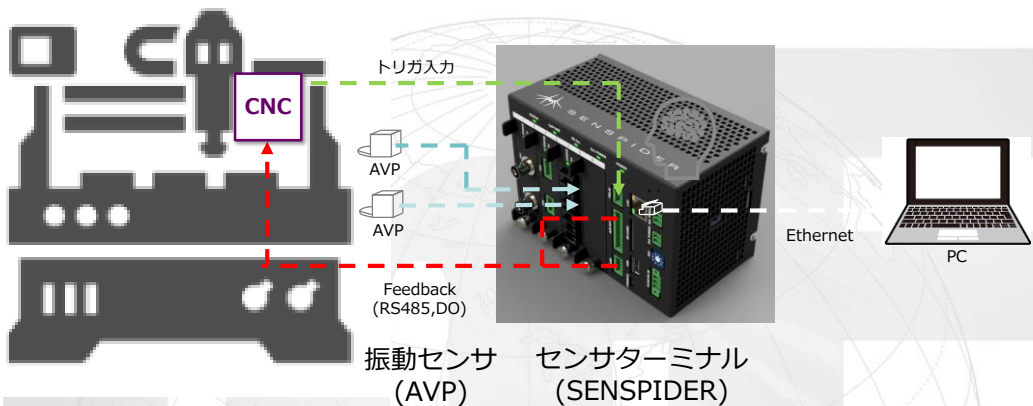
- 新規事業の取り組み事例
  - 予知保全ソリューションとAIの統合
  - 自動運転ソリューション



## 1 成長戦略：④成長加速の施策

### ■ 採用事例：工作機械でのリアルタイム異常検知

- 振動センサーを取り付け、常時振動と稼働状況を監視し、工具の磨耗など加工精度の低下を招く事象が発生した場合、リアルタイムで検知する機能を組み込みで実現。



## 1 成長戦略：④成長加速の施策

### ■ 高速アナログ入力搭載エッジコンピューティング端末： SENSPIDER

- 独自のアナログ・センサー・ターミナル
  - データ収集とAIの実装をワンパッケージで実現
  - エッジコンピューティング端末の決定版



mf Macnica Fuji Electronics



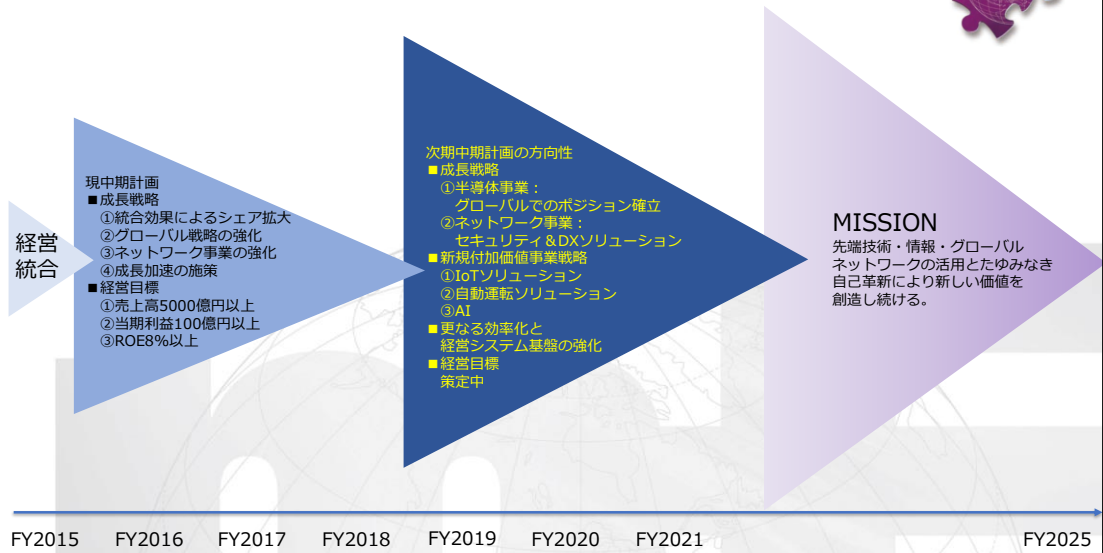
## 1 成長戦略：④成長加速の施策

### ■ 自動運転ソリューション：自動運転実証車



mf Macnica Fuji Electronics

## 次期中期経営計画に向けて



現中期計画

次期中期計画

## ポートフォリオチェンジ

### 2025年の事業ポートフォリオ・イメージ

成長を担う事業と安定的な収益を生む事業のバランスを図りながら高付加価値型の第3の事業を確立する。キーはAI。

